

産地直送便



発行(農)山形おきたま産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net>
2015.1.1 発行 責任者 星隆之

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

「明けない夜はない」と申しますが、今農村は出口の見えない闇の中で営農意欲が低下し、高齢化も加わり離農者が続出しています。

国は更なるコスト削減を叫び、一部大規模農家だけを育成しようとしていますが大規模に生産費を割り込んだ経営をいくら拡大してもそれを維持し続けることは困難です。

さらに農村は多くの住民が多面的な機能の中でつながりそれぞれの農業経営を支えています。誰もいない農村に一部の大規模農家だけが存在出来るほど単純なものではありません。

それでも人が生きていくうえで食糧は不可欠です。私たちがつくる食べ物を食べて下さる消費者の皆さんが居られる限り私たちは米づくりをやめません。

強い者だけが優遇される歪んだ社会を直し、人と自然の調和のとれた豊かな社会をつくる事こそが産直の神髄である事を信じています。
今年がその運動の飛躍の年でありますように…。

農事組合法人 山形おきたま産直センター
代表理事組合長 渡沢賢一



こめコッコオー卵



産直センター青年部の竹田聡です。

今年の山形の冬は例年になく早い積雪で、仕事に年末の行事に追われている毎日です。

私の家では、米や果樹のほかに養鶏をやっていて、毎日新鮮な卵を出荷しています。

この卵は私たちが作った米を食べて放し飼いで育った鶏が生んだ卵で、米コッコオー卵といえます。

おいしいエサとのびのびとした環境で育った鶏の卵を、ぜひ一度味わってください。

